

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 日本ケミファ株式会社
 コード番号 4539 URL <http://www.chemiphar.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

(氏名) 山口 一城
 (氏名) 森 治樹

TEL 03-3863-1211

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	5,384	—	17	—	△13	—	△38	—
20年3月期第1四半期	5,153	0.5	311	△9.1	288	△5.1	117	△9.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△1.00	—
20年3月期第1四半期	3.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第1四半期	22,982	—	6,844	29.8	—	—	179.41	—
20年3月期	21,764	—	6,943	31.9	—	—	181.99	—

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 6,844百万円 20年3月期 6,943百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	11,650	—	470	—	390	—	170	—	4.45
通期	23,900	14.3	1,400	19.6	1,200	19.0	600	53.8	15.72

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 [(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 [(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 38,522,301株 20年3月期 38,522,301株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 373,238株 20年3月期 370,639株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 38,149,952株 20年3月期第1四半期 38,175,907株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページをご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期の医薬品業界は、医療費抑制策の一環として、本年 4 月の薬価基準の改定、後期高齢者医療保険制度の開始など、引き続き厳しい環境の下に推移しました。また、ジェネリック医薬品においては、処方せん様式の再変更、後発医薬品調剤体制加算等のジェネリック医薬品使用促進策が実施されました。一方、国は「平成 24 年度までにジェネリック医薬品の数量シェアを 30%以上に拡大する」という目標を掲げ、昨年 10 月には「後発医薬品の安心使用促進アクションプログラム」において、普及のための整備として、安定供給、品質、情報提供面でジェネリック医薬品にも先発品と同等の水準を確保するよう求めております。

こうした業界の動向を見据え、当社グループは、昨年 4 月にスタートした中期経営計画「Next Stage『飛躍』」において、ジェネリック医薬品と当社主力品のアルカリ化療剤「ウラリットーU散、錠」の普及を医薬品事業の柱としており、特に、ジェネリック医薬品事業で病院市場におけるプレゼンスを確立すべく、ジェネリック医薬品事業に経営資源を重点的に配分し、活動してまいりました。

(医薬品事業)

医薬品事業の業績は、ジェネリック医薬品の売上が前年同期比 12.4%の増収となりましたが、医薬品全体での売上高は 5,230 百万円（前年同期比 5.5%増）となりました。営業利益は、安定供給・情報提供の充実等に加え、7 月追補品の発売に向けた販売促進強化により、販売費及び一般管理費が増加したため、20 百万円（前年同期比 93.4%減）となりました。

(その他の事業)

受託試験事業を営む㈱化合物安全性研究所の業績は、受注は堅調でしたが、競争の激化による原価率の上昇などにより、売上高は 154 百万円（前年同期比 21.8%減）、営業利益は△2 百万円（前年同期は 0 百万円）となりました。

以上の結果、当第 1 四半期の売上高は 5,384 百万円（前年同期比 4.5%増）、営業利益は 17 百万円（前年同期比 94.3%減）、経常利益は△13 百万円（前年同期は 288 百万円）、四半期純利益は△38 百万円（前年同期は 117 百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて 938 百万円増加し、10,837 百万円となりました。これは、主に商品が 756 百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて 279 百万円増加し、12,140 百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて 1,218 百万円増加し、22,982 百万円となりました。

②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて 1,639 百万円増加し、11,621 百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が 1,051 百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて 322 百万円減少し、4,516 百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて 1,316 百万円増加し、16,138 百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて 98 百万円減少し、6,844 百万円となりました。これは、主に利益剰余金が 153 百万円減少したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第 1 四半期連結会計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により 382 百万円増加いたしました。また、投資活動においては 433 百万円の減少、財務活動においては、179 百万円の減少となりました。

この結果、当第 1 四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は 2,520 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第 1 四半期連結会計期間において、営業活動による資金は、主に仕入債務の増加並びにその他の流動負債の増加により 382 百万円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第 1 四半期連結会計期間において、投資活動による資金は、主に有形固定資産の取得による支出により 433 百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第 1 四半期連結会計期間において、財務活動による資金は、短期借入金の純増加があったものの、長期借入金の返済による支出、社債の償還による支出、配当金の支払があり、179 百万円の減少となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成 20 年 5 月 9 日に公表した業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 棚卸資産の評価方法

当第 1 四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成 19 年 3 月 14 日 企業会計基準第 12 号) 及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成 19 年 3 月 14 日 企業会計基準適用指針第 14 号) を当第 1 四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成 18 年 7 月 5 日 企業会計基準第 9 号) を当第 1 四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,520	2,751
受取手形及び売掛金	4,395	4,109
商品	2,521	1,764
製品	258	230
原材料	167	158
仕掛品	309	147
繰延税金資産	497	374
その他	168	363
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	10,837	9,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,935	2,784
機械装置及び運搬具	454	476
工具、器具及び備品	247	186
土地	5,478	5,478
有形固定資産合計	9,115	8,925
無形固定資産		
ソフトウェア	23	24
電話加入権	21	21
無形固定資産合計	45	46
投資その他の資産		
投資有価証券	1,735	1,594
長期貸付金	9	9
長期前払費用	13	15
敷金及び保証金	155	169
繰延税金資産	203	237
その他	973	973
貸倒引当金	△111	△111
投資その他の資産合計	2,980	2,888
固定資産合計	12,140	11,860
繰延資産		
社債発行費	4	5
繰延資産合計	4	5
資産合計	22,982	21,764

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,487	4,435
短期借入金	1,120	464
1年内償還予定の社債	220	320
1年内返済予定の長期借入金	1,251	1,533
未払金	400	287
未払法人税等	158	251
未払消費税等	18	—
未払費用	1,487	1,430
預り金	306	279
返品調整引当金	4	5
販売促進引当金	256	230
前受収益	252	252
その他	659	493
流動負債合計	11,621	9,982
固定負債		
社債	430	510
長期借入金	1,996	2,254
退職給付引当金	292	279
役員退職慰労引当金	205	200
再評価に係る繰延税金負債	1,589	1,589
その他	3	4
固定負債合計	4,516	4,839
負債合計	16,138	14,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,304	4,304
資本剰余金	0	0
利益剰余金	705	858
自己株式	△150	△149
株主資本合計	4,859	5,014
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△48	△104
土地再評価差額金	2,033	2,033
評価・換算差額等合計	1,984	1,928
少数株主持分	0	0
純資産合計	6,844	6,943
負債純資産合計	22,982	21,764

(2) 【四半期連結損益計算書】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	5,384
売上原価	2,504
売上総利益	2,880
返品調整引当金戻入額	1
差引売上総利益	2,881
販売費及び一般管理費	2,863
営業利益	17
営業外収益	
受取利息	4
受取配当金	16
固定資産賃貸料	7
持分法による投資利益	12
その他	4
営業外収益合計	44
営業外費用	
支払利息	25
手形売却損	14
支払手数料	14
その他	22
営業外費用合計	76
経常利益	△13
特別損失	
たな卸資産評価損	2
投資有価証券評価損	1
その他	0
特別損失合計	3
税金等調整前四半期純利益	△17
法人税、住民税及び事業税	148
法人税等調整額	△127
法人税等合計	20
四半期純利益	△38

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間

(自 平成20年4月1日

至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	△17
減価償却費	120
社債発行費償却	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	26
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	12
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4
受取利息及び受取配当金	△20
支払利息	25
手形売却損	14
投資有価証券評価損益 (△は益)	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△285
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△969
たな卸資産評価損	2
未収入金の増減額 (△は増加)	199
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,051
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	444
未払消費税等の増減額 (△は減少)	18
長期前払費用の増減額 (△は増加)	2
その他	△8
小計	620
利息及び配当金の受取額	18
利息の支払額	△39
法人税等の支払額	△217
営業活動によるキャッシュ・フロー	382
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△418
投資有価証券の取得による支出	△30
差入保証金の回収による収入	20
その他	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△433
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	656
長期借入金の返済による支出	△539
社債の償還による支出	△180
配当金の支払額	△114
その他	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△179
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△230
現金及び現金同等物の期首残高	2,751
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,520

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第 1 四半期連結会計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

当第 1 四半期連結累計期間(自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)

(単位:百万円)

	医薬品事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,230	154	5,384	—	5,384
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3	3	(3)	—
計	5,230	158	5,388	(3)	5,384
営業利益	20	△ 2	17	0	17

(注) 1 事業区分の方法は製品・商品の種類、販売市場の類似性を考慮し、医薬品事業、その他の事業にセグメンテーションしております。

2 各区分に属する主要製品・商品

事業区分	主要な製品・商品
医薬品事業	医療用医薬品
その他の事業	化粧品・健康食品等販売、安全性試験の受託等

3 当第 1 四半期連結累計期間における営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額はありません。

② 所在地別セグメント情報

所在地別セグメント情報につきましては、当第 1 四半期連結累計期間に在外連結子会社及び在外支店がないため、記載を省略しております。

③ 海外売上高

海外売上高につきましては、当第 1 四半期連結累計期間に輸出の連結売上高に占める割合が 10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第 1 四半期連結会計期間 (自 平成 20 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 6 月 30 日)
該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第 1 四半期 (自 平成19年4月 1日 至 平成19年6月30日)	
		金 額	百分比
売 上 高		5,153	100.0 %
売 上 原 価		2,082	40.4
売 上 総 利 益		3,070	59.6
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		2,758	53.6
営 業 利 益		311	6.0
営 業 外 収 益		55	1.1
営 業 外 費 用		78	1.5
経 常 利 益		288	5.6
特 別 利 益		—	—
特 別 損 失		—	—
税金等調整前四半期純利益		288	5.6
法人税、住民税及び事業税		252	4.9
法 人 税 等 調 整 額		△ 81	△ 1.6
四 半 期 純 利 益		117	2.3

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前第 1 四半期 (自 平成19年4月 1日 至 平成19年6月30日)
	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	288
減価償却費	56
支払利息	29
売上債権の減少額	60
たな卸資産の増加額	△ 132
仕入債務の増加額	225
その他流動負債の増加額	466
その他	16
小計	1,011
利息及び配当金の受取額	20
利息の支払額	△ 43
法人税及び住民税等の支払額	△ 359
営業活動によるキャッシュ・フロー	627
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産取得による支出	△ 129
投資有価証券取得による支出	△ 2
その他	44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 87
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増加額	80
長期借入金の借入による収入	1,400
長期借入金の返済による支出	△ 496
社債の償還による支出	△ 180
配当金の支払額	△ 76
その他	△ 1
財務活動によるキャッシュ・フロー	725
IV 現金及び現金同等物の増加額	1,265
V 現金及び現金同等物期首残高	3,994
VI 現金及び現金同等物四半期末残高	5,259

(3) セグメント情報

①事業の種類別セグメント情報

第 1 四半期(自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 19 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	医薬品事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	4,955	197	5,153	—	5,153
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4	4	(4)	—
計	4,955	201	5,157	(4)	5,153
営業費用	4,649	201	4,850	(8)	4,841
営業利益	306	0	307	4	311

(注) 売上高はセグメント間の内部売上高を相殺しております。

②所在地別セグメント情報

所在地別セグメント情報につきましては、在外連結子会社及び在外支店がないため、記載を省略しております。

③海外売上高

海外売上高につきましては、輸出の連結売上高に占める割合が 10%未満であるため、記載を省略しております。